

- 1-8 特集 厚木の魅力をみんなで発信
- 9 街の話題/コラム
- 10 地域コミュニティ交通
- 11-12 お知らせ/コラム



誰もが「住みたい」「訪れたい」まちに

## 厚木の魅力をみんなで発信

「厚木の魅力って何ですか」。この問いに、皆さんはどう答えますか。夕日が沈む大山、行きつけの店の店員さんの笑顔、道端に咲く花。思い浮かぶ全てが、かけがえのないまちの魅力です。少子高齢化などによる人口減少が見込まれる今、いつまでも「住みたい」「訪れたい」と選ばれるまちで在り続けるためには、市の魅力を広めていくことが大切です。

特集では、日頃から厚木の魅力を広めている人たちの姿から、一人一人が情報を伝える大切さを考えました。

発信者は、皆さんです。【2～8面に関連記事あり】

企画政策課 ☎225-2450

# 聴

## き手に寄り添い 思いを届ける

ラジオパーソナリティー すぎきちほさん(44)

「こんにちは。金曜日のこの時間は厚木市の情報をお届けします」。午後1時、心地の良い声がラジオから流れてきます。声の主は県央地域で聴けるラジオ局「FMカオン」で厚木の情報を担当するパーソナリティー・すぎきちほさんです。すずきさんがパーソナリティーを始めたのは昨年7月のこと。音楽イベントと一緒に働いていたFMカオンの局長・天野哲也さん(45)に勧められた



コーナー紹介の言い回しは独自に考案

「こんには決まった台本がありません。放送日までに届いたお知らせや放送中にリアルタイムで入る情報の中から、瞬時にどれを伝えるか決め、頭の中で話し言葉に変えて電波に乗せま



放送中は広報紙やインターネットの他、リアルタイムで入るメールの情報も確認

「散歩でもしてみたら」と上司に勧められ、市内のお店などを巡るようになりました。散歩のときは、直感で気になった場所に約束なしで来店。客として食事や観光を楽しんだ

「散歩でもしてみたら」と上司に勧められ、市内のお店などを巡るようになりました。散歩のときは、直感で気になった場所に約束なしで来店。客として食事や観光を楽しんだ

厚木の大きな魅力の一つだと感じていました。パーソナリティーになって1年。「ラジオは紙面やテレビとは違い、友達とおしゃべりするような感覚で情報を伝えられるのが一番の利点。これからもリスナーに寄り添い、まちの魅力や市民の皆さんの思いを伝えたい」と意気込むすぎきさん。明るく親しみやすい声で、厚木の魅力を届けます。



残暑が厳しい夏の終わりの夕刻。地域住民にぎわう夏祭りの会場で、市内のケーブルテレビ局「あゆチャンネル」のカメラマン・肥後直樹さんの姿がありました。大きなビデオカメラを担いで駆け回り、おもしろいシーンに綿あめを頬張る子どもにレンズを向けます。



取材前はきれいな映像を撮るためにカメラの設定を入念に調整

# 住

## 民の表情が まちの魅力

テレビカメラマン 肥後直樹さん(31)

小さい頃から映画やテレビを見るのが好きで、映像制作に憧れていた肥後さん。大学を卒業後、ケーブルテレビ局に入社し、6年前から地域の情報を伝える番組を担当しています。台本の作成をはじめ、取材、撮影、編集を全て一人で担っています。初めは、何を取り上げていいか分からないまま番組を作っていたという肥後さん。取材を重ねるうち、ファインダー越しに見える地域の人々の、生き生きとした表情に引かれていきました。「小さくても温かいまちの話題や住民の表情に焦点を当てよう」。それから、より地域に根差した番組を作るため、視聴者からの情報提供を大切にしようになりました。

聴者から「近所の道路側溝から猫の声がする」と連絡があった時の出来事です。急いで現地に駆け付けると、側溝に落ちた子猫を近くで工事をしていた作業員が助ける場面を撮影できました。「猫が救出された時の近所の人たちの安堵と喜びに満ちた表情は今も忘れられない。地域住民の情報提供からこんな場面を撮影できてうれしかった」と肥後さんは目を細めます。「市内で日々起きていることや住民の日常の表情を伝えたい。そして番組を見た皆さんに地域への愛着を持ってもらえたらうれしい」と真つすぐな瞳で話す肥後さん。今日も市内のどこかでカメラを担ぎ、住民の表情を捉えています。



地域の魅力を引き出すため丁寧に取材



分かりやすさを第一に考え編集

# #niceatsugi 人の数だけ「魅力」がある 魅力を見つけ伝える人の力

日々まちの情報や輝く人の姿を追い、厚木の魅力を発信する人たちがいます。ラジオや冊子、テレビやインターネットなど、さまざまな媒体で情報を伝える人々の姿から、一人一人の身近にあるまちの魅力を再発見します。

# 体

## 験の共有で 暮らしを潤す

編集ライター 小川真奈さん(30)

「まなていーさんと話せて楽しかったです」。取材を受け終

ma」のライターです。小川さんは2年前、デザイン

「散歩でもしてみたら」と上司に勧められ、市内のお店などを巡るようになりました。散歩のときは、直感で気になった場所に約束なしで来店。客として食事や観光を楽しんだ

として、着飾らず、感じたことをあるがままに伝えてい」と話します。親近感のある記事が話題になり、ウェブや冊子、SNSで記事を書く「中の人」としてファンが増えていきました。

えた美容師の笑顔の先には、ベレー帽がトレードマークのまなていーこと、小川真奈さん。厚木と海老名のグルメやお出掛け情報などを発信する冊子「no

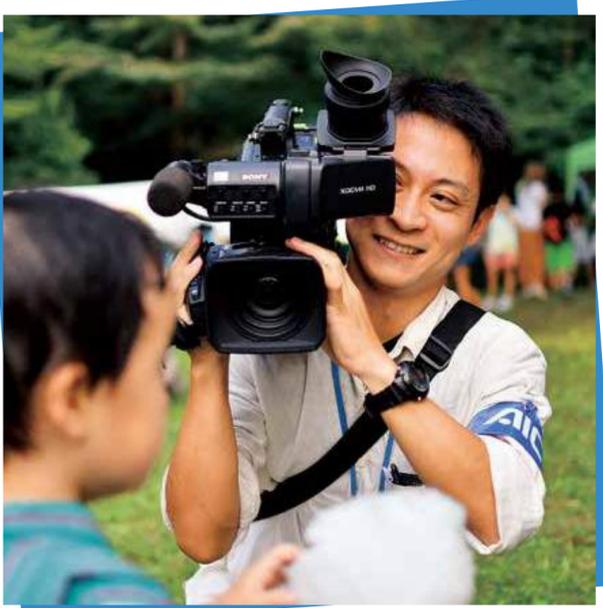
後、退席するときに記事にしても良いか声をかけます。散歩を始めたばかりの頃を小川さんは「街のいろいろな顔を知れたし、皆さんが受け入れてくれて、つながりができるのがうれしかった」と振り返ります。

no maでは小川さんの他にも、たくさんライターの記事を手掛けています。市民や市内で働く人などが楽しいと感じたことを、友達同士で教え合う感覚で書かれた記事には、地元愛があふれています。小川さんは「みんなの『良いな』と思う感覚を大切に、体験を共有していけたら」と笑みをこぼします。



取材時は楽しむことを忘れない

今後は、厚木と海老名の店舗を集めたイベントを開催するなど、市外へのPR活動にも力を入れていくという小川さん。今日もお気に入りのベレー帽をかぶって、まちの魅力を探しに出掛けます。



# 独自の目線で発信する あつぎの魅力

## みんなの「知らない」を「知ってる」に変えたい

厚木らぼ編集長 田原礼美さん(38)



自転車で街を駆け情報収集

2018年に厚木の店舗やイベント情報を発信するサイト「厚木らぼ」を作りました。きっかけは子育てで外に出る機会が減り、情報が得にくくなったこと。同じ思いのママたちの助けになればと、サイトを作り、取材や撮影、記事の作成など、全てを担っています。中でもこだわっているのが写真です。すてきな情報も、写真写りが悪いと魅力が半減。料理のおいしさや取材対象者の人柄が伝わるよう、光の当たり方も工夫しています。

## 好きを見つけて、毎日を楽しむ

あつぎ一編集長 松村剛司さん(41) ライター 鈴木ようこさん(44)



二人とも厚木生まれ厚木育ち

市内でデザイン事務所を営む傍ら、「あつぎ一」というウェブサイト運営しています。紹介しているのは、個性的な看板や張り紙、お店、商品など、何げなくまちにあって、意識しないと気付かないようなものです。日常の中で好きなものを見つけていけば、毎日楽しく過ごせて、まちのことをもっと好きになれると思い、始めました。見慣れた風景も、少し視点を変えると新しい世界が広がります。そこら中に転がっている厚木の面白いことを集めて、共有したいと思っています。

## 魅力を再発見してまちを元気に

本厚木ミロード販売促進担当マネジャー 田中光太郎さん(27)

「アツギラバーズ」は、厚木の魅力を再発見してもらうための冊子です。旬な話題や読者の声を取り入れ、情報の鮮度を保っています。市内で観光や食事を楽しむ人が増えれば、自然と店舗のお客さんも増えるはず。冊子を見て、厚木で充実した時間を過ごしてもらえたらうれしいです。

## 子育てをもっと楽しく

子育て情報誌「Laugh!」編集長 高橋千尋さん(36)

子育て中のママとして、同じ目線で悩みの解決策やお得な情報を伝えたいと思い制作しています。記事は全て、子育て中のママが書いてくれたもの。体験を共有し、心身の負担を軽くできたらと思っています。飲食店やサロンなどの情報も発信し、地元の活性化にも貢献していきたいです。

# 読者・視聴者の声

宮崎佳子さん(41・戸室)

「Laugh!」を毎号読んでいます。子育てで不安の中、大変なのは自分だけじゃないんだと安心できます。子連れに優しい飲食店や遊び場など、行きたい場所の情報も盛りだくさん。子どもと行くのが楽しみです。

大坪政文さん(72・中町)

お祭りとかカメラが大好きなので、「あゆチャンネル」でイベント情報を見て撮影に出掛けています。当日の様子を皆さんにも知ってもらいたくて、写真をSNSに投稿しています。見てくれた方との交流も楽しみの一つです。

工藤サエさん(38・みはる野)

友人とご飯に行くお店を探るとき、「厚木らぼ」を参考にしています。新店舗の情報も豊富で、「こんなお店できるの知ってた?」と家族や友人にすぐ話しちゃいます。厚木に特化した情報を集められるので、とても助かります。





### ~menu~ SNSの登録方法

①スマートフォンやタブレットに各SNSのアプリケーション(※1)をダウンロード(※2)  
 ※1: 電子機器で作業の目的に応じて使うソフトウェア  
 ※2: iPhoneやiPadの場合は「App Store」、Androidは「Google Play」からダウンロードが可能

②メールアドレスまたは電話番号を入力

③自分で定めたパスワードと名前を入力

意外と簡単!

でもマスター! 写真を投稿して何の意味があるの?

絶対知らないよな? そんなときはこれだ!!



お気に入りのSNSを知ることもできるぞ。SNS上では、友人や知人と交流するだけでなく、自分の趣味や嗜好、住んでいる地域など共通する項目を持つ人と新たな交流関係をつくりたり、幅広いコミュニケーションを取ったりすることもできる。お店の宣伝などにも使えて、僕は店内やメニュー、お客様の写真をたくさん投稿してPRしているんだ。

ゆりあちゃんもSNSで自分のお気に入りの写真を投稿して、いろいろな人と交流すれば良い。ぜひ今日から始めてみよう。

ちなみに市内で撮った写真の投稿に「#niceatsugi」を付けてもらえると、厚木の良い所を探している人が見てくれるよ。いま「#niceatsugi」で検索するとこんな写真が投稿されてるんだ。

うわー! すてきな写真はばかり! ナイスなあつぎがたくさんある!

入りを知らない。写真を投稿することで自分のお気に入りのものをみんなに知ってもらうことができるんだ。さらに、みんなが投稿するところいろいろなことできるぞ。

仕方ない説明しよう。写真を投稿することで自分のお気に入りのものをみんなに知ってもらうことができるんだ。さらに、みんなが投稿するところいろいろなことできるぞ。

お気に入りのSNSを知ることもできるぞ。SNS上では、友人や知人と交流するだけでなく、自分の趣味や嗜好、住んでいる地域など共通する項目を持つ人と新たな交流関係をつくりたり、幅広いコミュニケーションを取ったりすることもできる。お店の宣伝などにも使えて、僕は店内やメニュー、お客様の写真をたくさん投稿してPRしているんだ。

ゆりあちゃんもSNSで自分のお気に入りの写真を投稿して、いろいろな人と交流すれば良い。ぜひ今日から始めてみよう。

ちなみに市内で撮った写真の投稿に「#niceatsugi」を付けてもらえると、厚木の良い所を探している人が見てくれるよ。いま「#niceatsugi」で検索するとこんな写真が投稿されてるんだ。

うわー! すてきな写真はばかり! ナイスなあつぎがたくさんある!

## 人の数だけ「ナイス」がある! #niceatsugi で発信しよう

ナイスなあつぎの原宿は皆さんの日常の中に転がっています。皆さんも自分の視点で見つけた厚木の魅力をSNSで発信してみませんか。

マスター 市内にあるカフェの店長。SNSを使いこなし、お店の宣伝をしている。

ゆりあちゃん 超アナログな大学生。最近スマートフォンを持ち始めた。



そんなときはこれ! そんなときはメニューに...?

そのナイスな写真SNSに投稿してよ!

ドヤ

エスエヌエス? トウコウ? 何のことなのー!

何でメニューに...?

### 日常にあふれる魅力を探す「#niceatsugi」のを見つけ方ワークショップ

「本当にこの写真でいいの?」「自信がない」という方のために、ナイスなあつぎのを見つけ方を教えます。 広報課 ☎225-2040

【日時】11月16日 13時30分～15時30分  
 【場所】市役所本庁舎他  
 【内容】「あつぎーく」の鈴木さんと松村さん(3面で紹介)からSNSの投稿方法や写真の撮り方を学ぶ  
 【対象】市内在住在勤在学の方15人  
 【料金】100円程度(保険代)

こんな視点で見つけています  
 新品焼き餃子 190円  
 「中古もあるのでしょうか」

当日は実際にまちに出て写真を撮影する

おつき 元気Wave 10/1～CATVで放送

## #niceatsugi

皆さんの投稿から毎月大賞を決定! 今月の「#niceatsugi」大賞

皆さんがSNSに投稿した写真の中から、4・5面で紹介した七つの媒体の担当者が毎月一つずつ選び、大賞を決定します。選ばれた写真は、各媒体などで発表します。 広報課 ☎225-2040

【対象】インスタグラムやツイッター、フェイスブックに「#niceatsugi」を付けて投稿された写真・動画  
 【掲載方法】市HPや本厚木・愛甲石田駅前「あつナビ」、各媒体紙面・HP・番組など。掲載時期は媒体によって異なります

皆様の投稿から毎月大賞を決定! 今月の「#niceatsugi」大賞

皆さんがSNSに投稿した写真の中から、4・5面で紹介した七つの媒体の担当者が毎月一つずつ選び、大賞を決定します。選ばれた写真は、各媒体などで発表します。 広報課 ☎225-2040

【対象】インスタグラムやツイッター、フェイスブックに「#niceatsugi」を付けて投稿された写真・動画  
 【掲載方法】市HPや本厚木・愛甲石田駅前「あつナビ」、各媒体紙面・HP・番組など。掲載時期は媒体によって異なります

楽しそう企画! 私も選ばれたーい

人通りの多い駅前でも放映

### これできみもSNSマスター!

SNSの種類

- Instagram** 写真や動画の投稿がメイン。「インスタ映え」といわれるように、写真で視覚的に情報を伝える。
- ツイッター** 140字以内の短文や写真を投稿。日常の出来事や自分の考えなどが投稿されることが多い。
- フェイスブック** 実名登録制で、利用者は実際に面識がある友達や知人と交流することが多い。

ハッシュタグとは

SNSで利用するキーワード。投稿内容を分類することができる。

【特徴】

- ハッシュタグで検索すると、興味のある情報に素早くたどり着ける。
- 同じ話題を投稿している人同士で情報を共有できる。

【使い方】

言葉の頭に「# (半角のシャープ)」を付け、

- 自分の投稿文に入力②検索  
例①市内のナイスなところを投稿したい → 「#niceatsugi」を付けて投稿
- 市内のナイスなところを知りたい → 「#niceatsugi」で検索

市公式アカウントでも情報発信中  
 詳しくは 厚木市 ソーシャルメディア 検索

#niceatsugi

# みんなの力で魅力あふれるまちに 進む地方創生

地方創生は、将来見込まれる人口減少などに対応する取り組みです。市では、市内の若者を中心に推進プロジェクトを設置。人口動向に影響の大きい20歳代の定住促進に向け、市を多くの人に知ってもらうための魅力発信に力を入れています。



ステッカーになるロゴのデザインも大学生が提案。目に付きやすく、愛着を持ってもらえるよう意見を出し合った



8月の婚活ツアーでは市内ホテルの教会見学を実施



小田急線の車両にポスターを掲示し観光資源や子育て施策をPR

少子高齢化により見込まれる人口減少は、厚木市も例外ではありません。市では、将来の人口規模と目指す方向性を示した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を2016年に策定。出生率の上昇、定住促進、雇用の創出の3項目で数値目標を定め、達成に向けて取り組んでいます（右欄参照）。

## 若者の視点でまちをPR

地方創生推進プロジェクトは、総合戦略が対象にしている

## まち・ひと・しごと 創生総合戦略

人口ビジョンで定める目標人口の実現に向けた取り組みを規定。数値目標や基本目標、具体的な施策を盛り込んでいます。

数値目標	合計特殊出生率		※現状値▶目標値
		1.28 (13年)	▶1.42 (20年)
	定住促進		
	20歳代の転出超過数 187人 (14年) ▶90人 (19年)		
	雇用の創出		
	事業所数	9994事業所 (14年)	▶1万500事業所 (19年)
	就業者数	15万242人 (14年)	▶15万7800人 (19年)



## 小さな「ナイス」を 大きな「魅力」に

地方創生推進プロジェクト  
実行委員長 高田 幸治さん (44)

人口が減るとい現実を、どれだけの人が危機意識を持って受け止めているのでしょうか。経済などに及ぼす影響も少なくありません。こうした状況を打開するためには、将来の厚木を支える若い世代の力が、どうしても必要となってきます。

若い世代にどうしたら「住みたい」「訪れたい」と感じてもらえるか、プロジェクトでは何度も議論を重ねてきました。厚木には魅力がたくさんあります。これをPRしない手はありません。市民全員がまちの未来を担う発信者であり、当事者です。少しでも「良いな」と感じたことがあれば、どんどん表に出してみてください。あなたの小さな「ナイス」が誰かにとっての大きな「魅力」になるかもしれません。

20歳代を中心に市の魅力を伝えることが主な役割です。メンバーは、市内の企業や団体、大学、行政などから選ばれた10〜40歳代で構成。対象に近い世代の視点から意見を出し合っています。

これまで、若者が集まる音楽ライブで市の特産品や伝統芸能を紹介した他、市内の観光地を巡る婚活ツアーを開催。さらに市内で働く若手社員が大学生にまちの魅力や働きやすさを紹介する講座も開きました。一方で、普段誰かが目にしていない身近な魅力のPRが課題となっていました。

課題の解決に向けプロジェクトが目をつけたのが、SNSによる情報発信です。国内のSNS利用者は7千500万人を超え、若者の間では新聞やテレビに代わる重要な情報源となっています。今年7月、大学生メンバーを中心に、SNSを使った魅力発信事業を開始。多くの人が

## SNSで魅力を発信・共有

題となっていました。

## 「ナイスなあつぎ」を詰め込んだPR動画「ATSUGI」が完成

厚木の魅力を国内外に発信するプロモーションビデオを作成しました。



「あつぎ鮎まつり」でも撮影

公開日

10月1日～

公開場所

- 市HP(あつぎ映像ライブラリー)
- 厚木市広報課公式インスタグラム



市内の観光スポットも多数登場

詳しくは [あつぎのえいぞう](#) 検索

☎ 広報課 225-2040

## みんなが誇れるまちに

市では、子育て施策の充実や災害対応力の強化、地域包括ケア社会の実現など、誰もが住みたいと思えるまちづくりを進めています。厚木市を知らなかった人にも目を向けてもらうためには、効果的な情報発信が欠かせません。これからは活力あるまちで在り続けるために、プロジェクトや市民の皆さんと連携し、厚木の魅力を多くの人に届けていきます。

☎ 企画政策課 225-2450

## ジャズに酔いしれる夏の夜 夏の風物詩「あつぎジャズナイト」を開催



ドラマターの神保彰さんが観客を沸かせた

夏の夜風を感じながらジャズを中心とした生演奏やグルメを楽しむ「あつぎジャズナイト2019」を、8月22・23日に、厚木公園で開催しました。仕事帰りの会社員など約1万8千人が、生演奏に耳を傾けながら地元の料理に舌鼓を打ちました。イベントは、中心市街地のにぎわい創出を目的に、市民の皆さんで組織する「厚木市まちなか活性化プロジェクト」が運営。今年で10周年の節目を迎えました。ステージでは、世界で活躍するドラマターやジャズバンドなどが迫力ある演奏を披露し、会場を沸かせました。

「あつぎジャズナイト」は、音楽が大好きで毎年来ています。食事を楽しみながら生演奏を聞けるのが魅力」と話していました。

## 日本郵便株式会社と包括協定を締結 安心・安全なまちづくりに向けて連携

市内にある19の郵便局と、安心・安全なまちづくりに向けた協定を結びました。9月の締結式では、小林市長と橋本浩一愛甲石田駅前郵便局長（写真中央左）、小西一郎厚木郵便局長（同右）、城田健二厚木北郵便局長（同左）が協定書を取り交わしました。協定は、郵便局が持つネットワークを生かして、災害時の対応力などを高めるために締結。これまでの「災害時における協力」「道路の損傷等の情報提供」「地域の見守り活動」に加え、新たに「廃棄物の不法投棄物等の情報提供」「かけこみポイント事業」「厚木市の魅力等の情報発信」などで連携し、市民の皆さんの暮らしを支えていきます。



「市民の皆さんが安心・安全に暮らせるまちになれば」と橋本局長

## 子育て世代と意見交換 子育てコミュニティトークを開催

子育て世代の意見を施策に反映するため、保護者と小林市長らが意見を交わす「子育てコミュニティトーク」が、8月から始まりました。市内の小・中学校に通う児童・生徒などの保護者約50人を対象に、10月9日までに5回実施します。



子育て中の保護者と活発な意見が展開された

トークは、小林市長が掲げる「現地対話主義」の一環として、毎年開催。初日には7人の保護者が、地域との関わり方や子どもを守るための家庭での取り組みをテーマに話し合いました。携帯電話所持に關しては、「子どもだけで過ごす時間があるため持たせている」「子どもがトラブルに巻き込まれないためには、保護者も最低限の知識を身に付けなくては」などの意見が出されました。



## 地域で総合防災訓練を実施 市民や市職員ら約1万6千人が参加

9月1日の防災の日に合わせて、総合防災訓練を各地域で実施しました。訓練は、市内の災害対応力を高めるために毎年実施。市と自治会ごとに組織する216の自主防災隊が連携し、大地震を想定した訓練に取り組みました。各自自主防災隊が中心となつて、地域の実情に応じた訓練が実施された他、厚木中央公園では、人命救助の特別部隊・高度救助隊による救出訓練などを展開。玉川小学校では、指定避難所の開設や自衛隊による炊き出しを行いました。市立病院と東名厚木病院では、市や医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院の職員が連携し、患者の重症度に応じて治療の優先度を決める訓練などに当たりました。



防災指導員が三角巾の使い方などを指導

## アツギ X ニュージーランド ホストタウン通信



選手を交わしトライを狙う玉川小の児童

### ラグビー-NZ代表 が市内児童と交流

男女7人制ラグビー-NZ代表チームが、8月28～30日に厚木市を訪問しました。

選手らは滞在中、練習や市内施設を視察した他、28日には市内のラグビースクールに通う子どもたちを対象としたラグビー教室を開催。子どもたちは、パスやタックルなどプロの技を少しでもまねようと、熱心に指導を受けていました。翌日、選手らは玉川小学校を訪問。4年生の代表12人がタグラグビーをプレーし、選手たちと一緒にパスを交わしたり、声を掛け合ったりしながら、トライを目指していました。その後、児童たちはソーラン節で歓迎と感謝の気持ちを伝えました。

男子代表(All Blacks Sevens)は、東京五輪の直前に厚木市を訪問し、市民の皆さんと交流する予定です。

2020年東京オリンピック・パラリンピック(東京五輪)に向けて、ホストタウンとなったニュージーランドとの交流事業を紹介します。

皆さん、この写真の景色はどどこか分かりますか？これは厚木が誇る自然、そして経済活性化や利便性向上などのたくさんの可能性を持つ圏央道が融合する場所。私にとつての「ナイス」な厚木です。皆さんもきっと、それぞれに、好きな風景や人、物などをお持ちのことと思います。現在、国内では、人口減少や少子高齢化などに歯止めをかけるため、各地域で特徴を生かした、自律的で



お気に入りの依知の風景を手に

市では、子育て環境や教育環境の充実、まちづくりなどの政策的な情報を、広報紙やインターネットで発信しています。しかし、市の魅力は、行政だけで伝えられるものではありません。皆さんが知っている、何げない厚木の日常「ナイスなあつぎ」を、言葉や写真などで、誰かに伝えてください。共に私たちが暮らす厚木の魅力を、たくさんの人に届けていきましょう。

持続的な社会を創生する取り組みが進んでいます。厚木市でも「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「合計特殊出生率の上昇」「定住促進」「雇用の創出」の三つを目標に掲げ取り組んでいます。それらの目標達成には、市の魅力を広く、たくさんの人に知ってもらうことがとても大切です。

Zoom Up

# コミュニティ交通を試験運行 地域に合う交通の在り方を検証

コミュニティ交通は、買い物や通院などでの移動に不便を感じている人を支える、地域住民主体の交通手段です。11月から「まつかげ台・みはる野」「鳶尾」の2カ所の有償の試験運行を実施。本格運行を視野に、必要性や継続性などを検証していきます。

市でのコミュニティ交通は、導入を目指す地区が主体となり、運行計画などを作成。交通の専門家らでつくる市地域公共交通会議の承認を得たものを、市が支援する仕組みです。

高齢者の多い同地区では、昨年からの導入に向けた検証を開始。6週間、8人が乗車できるタクシーを無償で運行し、利用者や周辺住民へのアンケートも実施しました。アンケートでは、運賃をはじめ、順路、時間、行きたい場所などを調査。結果を踏まえ、今回の試験運行では、運賃を100円とし、高齢者の買い物ニーズを重視した運行

形態を取りました。

## 高齢者が楽しく外出できるように

市では、同地区でのコミュニティ交通の方向性を「地域包括ケア社会の実現に向けた厚木市らしい移動システム」と定めました。誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられる社会をつくるには、移動手段の確保が欠かせません。

同地区を管轄する荻野地域包括支援センターの畑武子さん(63)は「高齢者の交通手段の確保は、介護予防の上

でとても大切。家に引きこもると、全がおっくうになり、心身の健康を損なう。昨年の実証では『車内での会話が楽しかった』という声も届いている」と、利便性向上だけにとどまらない導入の効果を感じています。

## 長く続く仕組みをみんなで検証

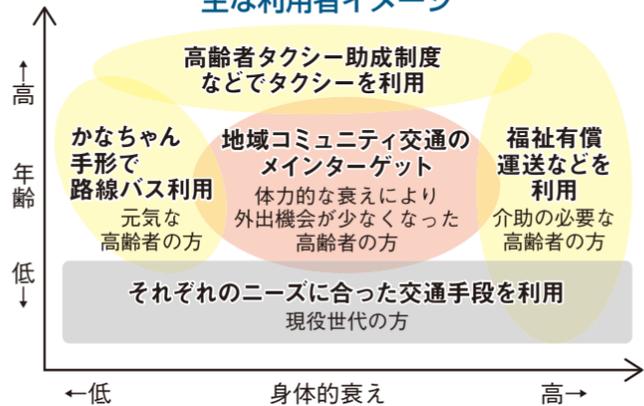
同地区での地域コミュニティ交通は、今回の試験運行の結果を踏まえ、来年度以降の本格運行を目指しています。市では、採算性と利便性だけでなく、高齢者の交流機会を拡大し、地域



50分程度の間隔で一日6便がスーパーや郵便局などを巡回

時間や順路などは [厚木市 コミュニティ交通](#) [検索](#)

### 地域包括ケア社会の実現に向けた移動システム 主な利用者イメージ



### 時代や地域に合う交通手段の検証を

横浜国立大学副学長  
市地域公共交通会議会長  
中村 文彦さん(57)

厚木市の交通網の特徴は、中心市街地がはっきりとしていて、そこに向かって道路があり、バス路線が通っていることです。大きな国道による分断はあるものの、他の自治体と比較しても、分かりやすく、整っていると言えるでしょう。

しかし、バス路線のきめ細かさには限界があり、全ての人が不自由なく利用できるわけではありません。高齢化を考えると、自家用車に頼れなくなるのも時間の問題です。地域コミュニティ交通は、それぞれの地域の交通手段では足りない部分を補う役割を担い、タクシーやバスの活用など、さまざまな方法があります。

必要な交通手段は、地域の状況や時代によって異なります。使う人がみんなで考え、自治体はそれをサポートする。長く続けていくためには、みんなが使って、採算性もある仕組みを、しっかりと時間をかけて検証することが大切です。

## 高年齢インフルエンザ 予防接種 重症化を防止



インフルエンザは、重症化すると死に至ることもある恐ろしい病気です。流行する前に予防接種を受けましょう。

- 《期間》 10月15日～2020年2月29日
- 《対象》 ①接種時に市内在住の65歳以上②60～64歳で、心臓、腎臓、呼吸器などに身体障害者手帳1級相当の障がいがある一のものに該当する方
- 《費用》 1500円（市民税非課税世帯で費用免除証明書の交付を受けた方、生活保護世帯、中国残留邦人などに対する支援給付を受けている方は免除）
- 《接種方法》 保険証を持ち期間内に直接、実施医療機関へ。実施医療機関は市HPに掲載。

健康づくり課 ☎225-2201

## 検診で骨折予防 骨粗しょう症施設検診

骨粗しょう症は女性に多い病気で、自覚症状が現れにくく、気付かないうちに進行します。骨折や寝たきりを防ぐには、早期発見が欠かせません。検診を受けましょう。

- 《期限》 2020年2月14日まで
- 《対象》 ①検診時に市内在住②本年度40・45・50・55・60・65・70歳になる③骨粗しょう症またはこれに起因する病気の治療を受けていない一の全てに該当する女性
- 《費用》 1500円（右欄と同様の免除制度あり）

直接または電話で健康づくり課へ。申し込み後に受診券を送付。実施医療機関は受診券に同封の一覧や市HPに掲載。

健康づくり課 ☎225-2201



エックス線で骨密度を測定

# タウンガイド

10月

日	月	火	水	木	金	土
	6	7	8	9	10	11
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月

日	月	火	水	木	金	土
	3	4	5	6	7	8
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号  
 ☎=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ  
 📍=マイタウンクラブ(📍印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「📍」と記されたものは、申し込み可)  
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

## あつぎのしゃしん。



「癒やしの水音」  
 #8月27日撮影  
 #七沢不動尻  
 #涼を求めて  
 #niceatsugi  
 広報課公式インスタグラムで公開中



### NZカルチャーキャンプ

11月2～3日(1泊2日)。七沢自然ふれあいセンター。国際理解講座や先住民族マオリ族の文化体験など。市内在住の小学3～6年生80人。3500円(食事代、材料費など)。**☑**市HPにある申込書を、郵送またはEメールで10月11日(消印有効)までに〒243-8511企画政策課☎225-2451・✉1100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。



### アミューあつぎハンドメイド&クラフトマルシェ

10月26日、10～16時。アミューあつぎ。約20店舗によるアクセサリーや洋服、雑貨など手作り品の

販売、ワークショップなど。**☎**商業にぎわい課☎225-2834。

### 斎場施設見学会

10月16日、10時30分～12時。市斎場。施設見学と葬儀の説明。定員30人。無料。**☑**10月1～15日に市斎場☎281-8595へ。先着順。

### あそぼう!まなぼう!まめの木タイム

10月28日、11～12時。中戸田児童館。発達に関するミニ講座、手遊び、親子触れ合い遊びなど。**☑**当日直接会場へ。**☎**療育相談センター☎225-2252。

### 厚木市民朝市

日曜、6～7時。文化会館駐車場。市内産の新鮮で安心・安全な農産物や加工品などを販売。**☎**農業政策課☎225-2801。

### 女性のための再就職応援セミナー

11月19日、13時～14時30分。あ

## ちびっこマラソン&駅伝競走大会

青空の下で気持ちいい汗を流しませんか。**無料**  
**☎**スポーツ推進課☎225-2531

**日時** 12月7日 9時～(雨天中止)  
**場所** 荻野運動公園

**【マラソン】対象:市内在住在学の小学生**  
 1.5<sup>キ</sup>の部=小学5・6年生  
 1<sup>キ</sup>の部=小学3・4年生  
 1<sup>キ</sup>親子の部=小学1・2年生と保護者の2人1組  
**【駅伝】対象:市内在住在学の小学3年生以上100組**  
 ※監督(責任者)1人、登録選手6人まで(走者4人)、大会協力員1人 1区=1.42<sup>キ</sup>。2区=1.18<sup>キ</sup>。3区=1.18<sup>キ</sup>。4区=1.12<sup>キ</sup>。

**☑**スポーツ推進課や市HP、公民館などにある申込書を、直接または郵送、ファクスで11月1日(必着)までに〒243-8511スポーツ推進課☎223-0044へ。駅伝は先着順。

つぎ市民交流プラザ。キャリア計画の作成や再就職に必要な知識を学ぶ。介護や子育てで離職し、再就職を希望する女性20人(託児あり)。1歳以上。11月1日までに要予約)。無料。**☎**電話またはファクスに〒住所、氏名を書き、11月18日までに産業振興課☎225-2832・☎223-7875へ。先着順。

### 市立病院職員を募集

**■診療放射線技師**  
**《一次試験日》**11月10日**《対象》**1990年4月2日以降生まれで①診療放射線技師資格を持つ②2020年の国家試験で取得見込みのいずれかに該当する方若干名。

**■薬剤師**  
**《一次試験日》**11月10日**《対象》**1990年4月2日以降生まれで①薬剤師資格を持つ②2020年の国家試験で取得見込みのいずれかに該当する方若干名。

いずれも**☑**市立病院やHP、市役所本庁舎、本厚木・愛甲石田駅連絡所にある申込書を、直接または

郵送で10月30日(消印有効)までに〒243-8588水引1-16-36病院総務課☎221-1570へ。

### 10月15～21日は違反建築防止週間

期間中、違反建築防止に向けた啓発やパトロールを実施します。**☎**建築指導課☎225-2434。

### 野焼きの制限

野焼きは原則禁止です。農業など条例で認められている場合も近隣に配慮してください。**☎**生活環境課☎225-2752。

### CD・DVD・ゲームソフトなどを回収

**《回収できる物》**CD・DVD・BD・MD・ゲームソフト(カセット・ディスク)。ケース付き可**《回収箱設置場所》**市役所本庁舎、あつぎ市民交流プラザ、環境センター、荻野・依知北・南毛利公民館。詳しくは市HPに掲載。**☎**環境事業課☎225-2780。

**10月20日 2019 環境フェア**  
 厚木中央公園 **☎**環境政策課☎225-2749

「一人一人が次世代につなぐ厚木の環境」がテーマの催しです。  
**時間**▷10～15時(荒天中止)  
**内容**▷地球温暖化対策・ごみ問題・外来生物の紹介、エコドライブシミュレーター・間伐材のクラフト体験、堆肥無料配布、市内産野菜・古本販売、保護猫の譲渡会など

**同時開催** 市民ふれあいマーケット  
**時間**▷10～14時(雨天中止)  
**内容**▷日用雑貨や衣料品などの不用品を90店舗が販売

10月は **3R** 推進月間  
 Reduce...ごみの量を減らそう  
 Reuse...繰り返し使おう  
 Recycle...資源として生かそう  
**☎**環境事業課☎225-2780

**郷土芸能まつり** 第17回 **無料**  
 地域に伝わる伝統芸能をお楽しみください。

**■郷土芸能発表会**  
**【日時】**10月27日 13時30分～17時  
**【出演】**伊勢十二座太神楽獅子舞保存会、愛甲ささら踊り盆唄保存会、西仲はやし連、市古式消防保存会、相模里神楽垣澤社中、法雲寺酒井双盤講、長谷ささら踊り盆唄保存会、林太鼓保存会、三増獅子舞保存会(特別出演・愛川町)

**■相模人形芝居特別公演**  
**【日時】**11月10日 13時30分～16時30分  
**【出演】**相模人形芝居林座、相模人形芝居長谷座、あつぎひがし座  
 いずれも文化会館。定員330人。**☑**当日直接会場へ。先着順。  
**☎**文化財保護課☎225-2509

**ホット** インターネットモニターからの意見を紹介  
**いいメール** Hot E-Mail  
**インターネットモニター募集**  
 厚木市 インターネットモニター **検索**  
**☎**広報課☎225-2043

9月1日号「広報あつぎ」を読んで  
 ◆さまざまな体験をしている子どもたちの表情が印象的/30代女性 ◆先生の労働環境を整備・充実し、質の高い教育を提供してもらいたい/60代男性 ◆不要な利用で救急車がすぐに来てくれないとしたらぞっとする/40代男性 ◆いくつになっても、やりたいことや興味のあることに挑戦し続けられると改めて思えた/40代女性 ◆駅前が仮装した人たちでいっぱいになるのは見るだけでも面白い/30代男性

**編集後記** 今回の特集では、さまざまな媒体で活躍する方の姿を追いました。皆さん違う形で業務に取り組んでいるのに、口をそろえて言うのは「厚木の方はみんな熱い!」ということ。私たちも市民の皆さんを取材する機会が多くありますが、ものづくりや子育て、催しなど日々何かに取り組む人々の姿はとても輝いて見えます。まちを支える皆さんの熱い思いが、厚木の何よりの魅力だと感じました/佐藤・佐久間・野本



ミスターフルスイング

# 中村紀洋講演会

「オリンピックにかけた思い」

入場無料

日時 **11月29日** 19時～20時15分

場所 **文化会館** 定員1100人

☎スポーツ推進課 ☎225-2531

元プロ野球選手でアテネ五輪にも出場した中村さんによる講演会を開催します。豪華プレゼントが当たる抽選会も実施します。



☎往復ハガキにて住所、代表者氏名、参加人数、電話番号を書き、11月1日(消印有効)までに☎243-8511スポーツ推進課へ。抽選。

☎往復ハガキにて住所、代表者氏名、参加人数、電話番号を書き、11月1日(消印有効)までに☎243-8511スポーツ推進課へ。抽選。

プロフィール

1992年近鉄バファローズに入団。2000年本塁打王、打点王を獲得。01年に2年連続打点王に輝く。日本代表でアテネ五輪に出場し銅メダルを獲得。13年に横浜DeNAベイスターズで通算2000本安打を達成。



## 第29回野外彫刻造形展

# あつぎ青空アート展

公園内に、プロの作家や子どもたちが作った、多彩な作品が並びます。芸術の秋を感じに、ぜひお越しください。 ☎文化生涯学習課 ☎225-2508

日時 **10月13～20日** 10～15時

場所 **ぼうさいの丘公園**

**入場無料**

**体験イベント盛りだくさん**

《親子ふれあいコーナー》  
10月13・14・19・20日。缶バッジ作り。100円(材料費)。

《野点》 10月19・20日。抹茶とお菓子を楽しむ。無料。

《木の実のアート教室》  
10月14・20日。木の実のアクセサリなどを作る。150円(材料費)。

☎当日直接会場へ。

**アートは心の遊び**

野外彫刻造形展  
運営委員長 **林有為子**さん  
(76・愛甲)



この展示は、プロとアマチュアの人と一緒に見られることが特徴で、市外から訪れる人も多くいます。アートに触れることは、心の遊びになります。体験イベントもあるので、会場に来て楽しんでください。



## 自然歳時記

● **クツワムシ** ●  
クツワムシ科

体長50～55mmほどの大きさ。緑色型と褐色型がいるが、その環境に適応していると思われる。夜行性で「ガチャガチャガチャ」とうるさいくらい連続してよく鳴く／玉川縁の土手で見つけた。 写真・文/吉田文雄



「ガチャガチャ、ガチャガチャ」元気のいいクツワムシの声が聞こえる。そっと近づくと「ガチャガチャ、ルルル」と鳴き声がやんだが、またすぐにあちらこちらで鳴き始めた。

童謡「虫のこえ」に出てくるのはマツムシ、スズムシ、コオロギ、クツワムシ、ウマオイなどの楽しい歌声。数年前まではどの鳴き声も聞けたが、最近はマツムシやクツワムシは減っていて、あまり鳴き声を聞けなくなりました。

昼はクズやアレチウリなどが生い茂る草ぼうぼうの荒地に見えるが、夜は虫たちの天国。耳を澄ますとスズムシやコオロギの声も聞こえてきた。夜の散歩道は吹く風も涼しく、虫たちの合唱も楽しみだ。

**厚木市の人口**  
(9月1日現在)

**世帯数** 10万314世帯(前月比18世帯減)

**人口** 22万4675人(前月比176人減) 男11万6268人・女10万8407人